

# 教頭通信デジタル

令和4年11月25日（金）第22号

文責：備前市立三石中学校 早川政宏

## 交流をとおして学ぶ【表現が見える】

## 高梁市立川上中学校との交流【全校生徒】

11月24日（木）、高梁市立川上中学校とZoomを活用した第1回学校間交流を行いました。川上中学校は高梁市川上町にある全校生徒数37名の中学校で、中学校区には1こども園（川上こども園）・1小学校（川上小学校）・1中学校（川上中学校）があります。川上中学校と三石中学校は学校規模や教育環境が非常に似ており、同じような課題をもっています。そこで、今回の学校間交流がスタートしました。今回の学校間交流に先立ち、11月15日（火）の放課後、両校の生徒会執行部が交流を行いました。初めは緊張の様子でしたが、自己紹介や学校紹介等をするうちに少しずつ緊張もほぐれ、「学区内にコンビニがないことも一緒だね」、「私の学校も生徒と先生の距離が短く、友達みたいです」等、多くの共通点を確認することができました。生徒会執行部同士の事前交流で第1回学校間交流での協議事項（協議テーマ）を考えました。

- ① 好きな教科について【←事前に考えておくテーマ】
- ② マイブームについて【←事前に考えておくテーマ】
- ③ 死ぬまでに絶対に行きたいこと【←当日伝えるシークレット・テーマ】



交流当日、2校時目に1年生、3校時目に2年生、4校時目に3年生の交流を行いました。1人1台タブレット端末とヘッドセットを用意し、Zoomに入室しました。三石中の学年主任の先生から交流の目的や意義の説明があり、その後は、ブレイクアウトルーム機能を使い4グループを作成し、交流がスタートしました。それぞれのグループには先生が1名加わり、その先生がファシリテーター（グループをゴールに導く進行役）を務めました（回数を重ねることでこの進行役も生徒ができるようにしたいと考えています）。

交流後の生徒の振り返りからは、「川上中は積極的に話すことができていると凄いなと思った」、「お互い小規模校のため人と関わる機会が少ないので、とても良い経験になった」、「最初は緊張していたけど、途中からは積極的に話すことができた」、「先生のフォローがなかったら、話せてなかったかも…」、「実際に会ってリアルの交流もしてみたい」等の感想が見られ、有意義な時間を共通することができました。第2回が楽しみになりましたね。

